

授業科目	総合医療	単位数	1 単位	講師名	医師・看護師・ 看護教員	
		時間数	30 時間			
学年	3 学年			履修期	後期	
授業の目標	1. 災害時の看護の役割が理解できる 2. 災害時の社会および被災者のニーズを理解する 3. 国際看護の役割が理解できる			1. 政策医療の現状と看護の役割がわかる 2. 神経・筋難病患者を理解し、日常生活の援助方法がわかる 3. 様々な職種でのチームの重要性を理解する		
授業内容 (授業計画)	(11)			(15)		
	1. 災害医療・看護の基礎知識 1) 災害の定義、種類、特徴 2) 災害サイクルと各期の特徴 3) 災害と法制度 4) 災害の医療体制 5) 災害時の対象 6) トリアージ 2. 災害看護の展開：慢性期・静穏期 1) 慢性期の看護 仮設住宅における看護 2) 静穏期の看護 3. 被災者特性に応じた災害看護 1) 高齢者、子ども、妊産婦、障害者 4. 災害とこころのケア 1) 災害後の心的反応とスクリーニング 2) 災害時における救援者自身のケア 5. 災害看護における対応 1) 看護学生としての行動とは 6. 国際看護 1) 国際化の視点、対象 2) 国際協力活動、多様な文化と看護			1. 政策医療の現状 2. 政策医療における看護の専門性 3. 結核患者の病態と治療 4. 結核患者の看護 5. 神経・筋難病の主な疾患と治療 6. 神経・筋難病患者の看護 7. 重症心身障害患者の病態と治療 8. 重症心身障害患者の看護 9. 生活の援助（呼吸・食事・排泄・移動・生活のリズム） 10. 感染防止、事故防止と安全の確保 11. 学習・療育の支援 12. 肺理学療法 13. 作業療法 14. 障害者を取り巻く医療制度・福祉制度 15. 患者家族との関わり、地域との連携		
	(4)					
	1. 災害看護の展開：急性期・亜急性期 1) 発災直後から出勤までの看護 2) 急性期の看護 トリアージの実際、応急処置、搬送 3) 亜急性期の看護 避難所の看護					
評価方法	筆記試験			レポート		
注意事項	特記なし			松江医療センターにて聴講するため、参考図書にて事前学習をして理解を進めること。		
教科書	統合分野〔3〕災害看護学・国際看護学（医学書院）			なし		
参考図書	1. 筋ジストロフィーてななに？（診断と治療社） 2. 筋ジストロフィー（ライフリサーチプレス） 3. 脳性まひ児の家庭療育（医薬薬出版） 4. 重症心身障害療育マニュアル（医歯薬出版） 5. 在宅生活を支えるために重症心身障害通園マニュアル（医薬薬出版） 6. 難病の理解とケア（Gakken） 7. 重症心身障害児のトータルケア（へるす出版 2 版） 8. 食べる機能の障害（医薬薬出版） 9. 非侵襲適人工呼吸療法ケアマニュアル（日本プランニング）					